

令和5年1月25日  
唐津農業協同組合

## お客さま本位の業務運営に関する取組方針

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

また、当組合では、経営方針で「地域農業の振興を通じて農業所得の向上を図り、地域社会に貢献する」というJA本来の目的を実現するJAを、更には「地域との共生、安全・安心で求められる農畜産物の提供」を基本に据える生産販売農協として「地域に不可欠なJA」を目指しております。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

### 1. お客さまへの最適な商品提供

(1) お客さまに提供する投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの全国機関である農林中央金庫において、「長期投資を前提とした商品性」「相対的に良好な運用実績」「良心的な手数料設定」「過去の運用実績の再現可能性」「過度な分配を追求しない運用方針」を選定基準とした「JAバンクセレクトファンド」を当組合の取扱商品として選定しております。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

※運用実績・体制については外部投信評価機関による定期的な評価を行います。

### 2. お客さま本位のご提案と情報提供

(1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則 4、原則 5 本文および(注 1～5)、原則 6 本文および(注 1、2、4、5)】

【最適な提案と情報提供に向けた主な取り組み】

- 資産形成・運用の必要性や投資信託の仕組み、運用環境、リスク、長期・分散投資の有効性等、「資産運用ガイダンス」に沿って適切な説明を行います。
- JA バンク資産運用スタイル診断シートを用いてお客様のリスク許容度を踏まえ、最適な商品・サービスを提案いたします。
- ご高齢のお客様には、原則として家族同席のうえ、より慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の十分な確認を行ないながら説明いたします。
- JAバンクセレクトファンドマップ等を活用し、簡潔かつ分かりやすい情報提供を行います。

3. 利益相反の適切な管理

(1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。また、対応方針に基づく利益相反管理態勢の妥当性について定期的に検証を行います。【原則 3 本文および(注)】

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

(1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則 2 本文および(注)、原則 6 (注 5)、原則 7 本文および(注)】

【人材育成に向けた主な取り組み】

- 専門性を有する人材育成の一環として、登録外務員等は全国システムによる再研修を毎年受講しております。
- 資産形成・運用提案にかかる知識および提案話法の習得を目的とし、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修を受講いたします。

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応を示しています。